

「函館市子どもの生活実態調査」結果のお知らせ

市では、昨年8月に、子どもの貧困の実態を把握し、今後の取り組みの参考とすることを目的に調査を行いました。調査は5歳児の保護者、および小学5年生、中学2年生、高校2年生の子どもと保護者、合わせて約7千人を対象とし約60%の方から回答をいただきました。その中から主な結果をお知らせします。ご協力いただき、ありがとうございました。

子どもの貧困って？

貧困には、最低限の食糧・生活必需品の確保すらままならない「絶対的貧困」と、生活水準が一般社会の平均よりも著しく低い「相対的貧困」があると言われており、現在、社会問題となっている子どもの貧困の多くは「相対的貧困」を指しています。

Q 家族の年収について

(5歳・小5・中2・高2の保護者の回答)

全体では「500万円以上700万円未満」が21.7%で最も高いですが、母子世帯では、「100万円以上200万円未満」が最も高く、また、母子世帯の73.5%が年収300万円未満となっています。[図表1]

Q 塾や習い事に行っていますか？

(小5・中2の保護者の回答)

全体では「行っている」が63.0%、「行っていない」が36.3%となっています。年収階層別でみると、年収400万円未満の階層で「行っていない」と回答した割合が高い傾向にあります。[図表2]

また、家族形態別では、「行っていない」は、両親世帯が32.4%、母子世帯が45.3%、父子世帯が69.2%となっています。

Q 将来の進路をどう考えていますか？

(高2の本人と保護者の回答)

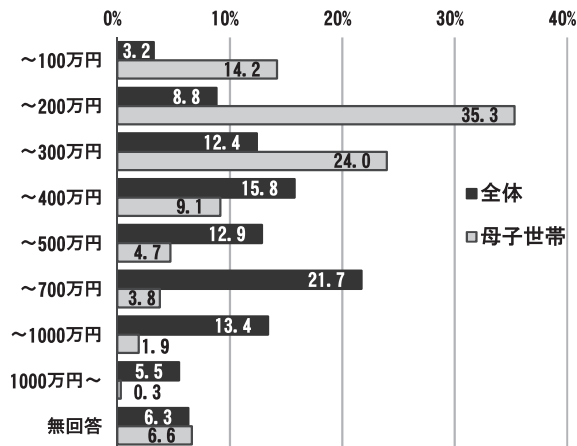
大学等への進学を希望している子どもが62.2%いますが、保護者では49.9%となっています。

また、子どもが「高校まで」と回答した理由については、「進学に必要なお金のことが心配だから」に「まああてはまる」「非常にあてはまる」と回答した割合は、全体で35.4%となっています。

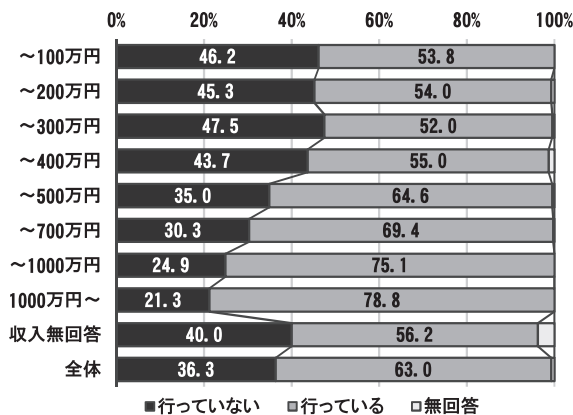
※ 詳しい調査結果は市のHPに掲載しています。

お問合せ 子ども企画課 ☎21-3946

【図表1】 家族の年収



【図表2】 塾や習い事に行っているか



※小数点第2位を四捨五入しており合計が100%にならない場合があります

HP「子ども会議」に参加する子どもを募集します

「函館市子ども条例」に基づき、子どもが社会参加する場として「函館市子ども会議」を開催します。函館をより素敵で暮らしやすい「まち」にするアイデアを考えてみませんか。

日時 7月30日(月)、8月2日(木)、8月7日(火) 午前9時～午後0時半(全3回)

※ 3回目は午後2時まで。

会場 函館アリーナ多目的会議室

対象 小学5年生～中学3年生までの子どもで、3回の会議すべてに参加できる方。

募集人数 20人程度 ※応募多数の場合は初参加者優先のうえ抽選。

応募方法 6月1日(金)～29日(金)に、子ども企画課で配布または市のHPに掲載する応募用紙(募集チラシの裏面)に必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メールまたは直接、子ども企画課へ。

お問合せ 子ども企画課 ☎21-3946

